

「光の眼」で、 病の早期発見に 挑み続ける。

院長 西澤 貞彦

一般財団法人 浜松光医学財団
浜松PET診断センター

光技術を用いた最先端の検診技術で、
小さな病巣の早期発見を試みる。

Message.1

PET 検診のススメ

浜松PET診断センターという名称の通り、当センターは**PET検査を中心に検診や診療を行う施設**です。

PETとは、ブドウ糖に似た性質を持つ薬を体内に入れ、その薬がどこに集まるかを観察することで病気を見つける検査です。がん細胞は通常の細胞よりも活動が活発であるため、多くの糖を消費しま

す。その原理を利用して、体内に注入した薬が集まる場所を観察することで**がんの早期発見が期待できる**のです。

もちろんがん以外にも、生命に関わる病気は数多くあります。恐ろしい病気は多いですが、ほとんどの病気はがんと同じく、早期発見すれば治る確率が上がり、治療の負担も大幅に軽減できます。このように早期発見はとてもメリットが大きいわけです。

このPETを早期発見のために利用する有効な検診法が、PET検診です。導入施設は増えてきましたが、詳しくご存じない方も多いようです。恐ろしい**病気を恐ろしくしないうちに克服する**ためにも、ぜひご活用いただきたいと思います。



Message.2

光技術の世界的メーカーが母体のPETの最前線



当センターは、一般財団法人浜松光医学財団が運営しています。この財団の母体となっているのは**世界的な光関連の電子機器メーカーである浜松ホトニクス**です。CTやPET機器に使用されている光学部品で高いシェアを有しており、そのメーカーが自ら設立したのが浜松PET診断センターです。浜松ホトニクスの研究施設が立ち並ぶ敷地内に当センターがある

るので、初めてお越しになった方で「当センターも研究施設のような」言う方も居られます。メーカーが自ら開発した最新の技術、機器を使用することで、得られた課題や改善点などをメーカーにフィードバックし、検診の精度を高めています。いわば、**当センターはPET開発の最前線です**。センター内には機器類を展示するショールームのようなスペースもあって、見学の方も多く来られています

Message.3

病気の早期発見と負担軽減を両立

PET検診のメリットは、大きく分けて2つあります。1つは一度に検査できる範囲が広く、**頭から骨盤までを一度に撮影可能**である点で、意外な部分でがんの兆候が見つかることもあります。こうしたケースを見ていると、PET検診でないと見つからなかったのではないかなとも思います。PET検診が持つ本来の目的



はがんの早期発見ですが、CTやMRIなどほかの検査情報を組み合わせることで、がんの早期発見の精度を高め、他のさまざまな病気の早期発見も可能になります。

次に挙げたいメリットは、**身体への負担がとても少ない**ことです。一度に撮影できる範囲が広いので検査時間も短く、この手の検査機器にある独特の威圧感のようなものもありません。**痛みがあるのは検査薬を注射する時くらい**で、検査衣のまま撮影ができます。どんなに良い検査方法でも負担が大きければ受けようと思っていただくのにハードルが高くなりますが、その点が解決されているのは受診者の皆さんにとって大きなメリットだと思います。

Message.4

PET 検診はがん専門ではありません



今ではPET検診の知名度も徐々に向上していますが、それに伴って「PET検診＝がん検診」というイメージが定着しているように感じます。もちろんがん検診に高い効果があるので間違いではないのですが、本来**PETは脳の機能を調べるために開発されたもので**、今でも脳の機能観察に大きな威力を発揮しています。

脳の機能というと認知症やアルツハイマー病などのリスクを感じて受診をされる方が多いのですが、こうしたリスクや兆候を事前に知ることができるPET検診は、脳にかかわる安心をご提供するのにも有効だと感じています。まだまだ治療法が確立していないこともあって、リスクを知ったところで対処が難しいという意見もありますが、それでも早期に兆候やリスクの度合いを知ることによって生活習慣や環境を整え、対処法を講ずれば予防効果が期待できます。

PET検診をがん専門と思わず、**他の病気の早期発見にも有効**であることを知ってもらいたいと思っています。

光の眼を進化させて、 がん・脳の病気をなくしたい

当センターは、「静岡県西部地域から、がん・脳の病気をなくしたい」という主旨で設立されました。まずは地元地域の人々の健康を守りたいという思いがありましたが、かなり先進的な施設だったこともあって、全国各地から多くの方が受診に来られるようになりました。

どなたであっても光技術を通じて健康を守っていききたいという思いは同じです。しかし、最先端の技術が実現したPETも万能ではありません。思わぬところにがんを発見することもあります。PETでは限界のある、見つけにくいがんもたくさんあります。だからこそ、X線CTやMRI、腫瘍マーカーなど、他の有効な検査方法を併用すること



とで総合的な精度を高め、最終目的である病気の早期発見を実現していききたいと考えています。

これからも光技術という「光の眼」を進化させて、日本全国から、がんや脳の病気をなくしていききたいですね。

浜松PET診断センターの特色

当センターでは2003年よりPETがん検診を実施し、2014年4月現在で累計検診件数は22,000件を超えております。日本医学放射線学会認定の放射線科専門医が画像を判読し、画像検査結果は当日ご説明します。

万が一、検査で陽性と診断された場合は、当センターが提携する大学病院や総合病院をご紹介します。
※無料駐車場完備。最寄りの遠州鉄道浜北駅間への送迎サービスも御座います。

浜松PET診断センターの情報

駐車場	50台(無料)
お支払方法	現金、振込、VISA、MasterCard、Diners Club、JCB、AMERICAN EXPRESS、三菱UFJニコス、デビットカード
責任者名	西澤貞彦(院長)
経歴	昭和56年 京都大学医学部卒業 平成15年 浜松PET診断センター院長就任 ◇放射線科専門医 ◇日本核医学会認定医 ◇PET核医学認定医

